

株式会社みらいパートナーズ

DX戦略

2026年度改訂版

2026年 8月 25日

代表取締役 菊池 正則



DX取組宣言

当社は、ITコンサルティング事業、BPO事業（給与計算代行、経理代行、バックオフィス、広報）を全国展開しております。生成AIをはじめとするデジタル技術の進展により、「人手で正確に代行する」ことだけを価値とする業務は、遠くない将来に必要とされなくなります。加えて労働人口の減少により、人を採用して受託量を増やすモデルは限界を迎えています。単にデジタル化しただけではだめ、デジタルを生かして変革し続けなければこの業界では生き残れないと強く考えております。

そこで当社は、BPO事業の位置付けを改めます。BPOは業務を代わりに処理するためのものではなく、お客様のDXを推進するための手段です。改善提案を行い、実行まで伴走する。ITコンサルティング×BPOにより、お客様がコア業務に集中できる環境を提供します。

お客様のお声を受け止める営業では、今まで通りアナログで手間をかけてお客様と真摯に向き合います。一方、BPO事業を支えるバックヤード業務にはデジタルを徹底的に駆使します。生成AI・AIエージェントを活用した業務改善を全社員で行う仕組みとして「DX改善事例報告会」を毎月1回実施しており、この活動によって生産性は取組前の1.5倍の効果を達成しました。今後はこの成功事例を既存顧客にも公開し、デジタル化の取り組みを推進する新事業サービス（オンデマンド事業）として展開します。

私たちは、お客様のビジネスニーズを丁寧にヒアリングし、業務プロセスに根ざした改善策を共に描き、実行まで伴走します。リスク管理から業務効率化まで、幅広い分野でのサポートを通じて、お客様の成長を後押しします。

経営理念・経営ビジョン

経営理念

私たちはお客様によろこばれる仕事を通じて社会に貢献し、あわせて、全員が成長する経営を行います。

経営ビジョン

当社はルールを徹底し、PDCAをまわし、コミュニケーションを促進することにより、いつでもお客様のために思考し実行できる社員を育成します。また、デジタル技術を駆使することによって、迅速さ・正確さ・細やかさ・柔軟さを圧倒的に向上させ、お客様には主力業務に集中していただける環境を提供します。そして、お客様が企業のIT化やDXを実現するための最も信頼できるパートナーになります。当社に合った能力をもった若い人が希望をもって活躍できる場を提供し、東北でも輝き、この会社に入りたいと思ってもらえる元気な会社であることを目指してまいります。

DX戦略

①迅速

◆BPO受託による業務をデジタルツールを活用し、無駄取りを行い生産性を向上

これまではGoogle Workspaceを中心に業務の無駄取りを行い、BIツールによる生産性の可視化に取り組んできました。現在は生成AI（Geminiを中心）をパートさんまで含めた全社員が活用し、各BPO受託業務の改善を進めています。主にGASを活用することでGoogle Workspaceとの親和性を保ちながら、数時間単位の業務時間削減などの成果を積み上げており、最近ではClaudeなどのAIエージェントの活用も始めています。あわせて人時生産性を幹部間で可視化し、どれだけ生産性が向上しているかを把握できる体制も整えました。今後はAIが業務を担うことを前提とした業務フローの再構築にも取り組み、迅速なサービス展開をさらに加速させていきます。

②正確

◆デジタルツールによるミスの最小限化

人的ミスが発生した際は、原因と再発防止策を振り返る仕組みを運用してきましたが、今後はデジタルツールの活用によりミスの発生自体を抑制していきます。従来はマニュアルや手順書をスプレッドシートで管理していましたが、これを簡易的なウェブアプリとして構築し、マニュアル・手順書・チェックリストを視覚的にわかりやすく、ガイド付きで確認できる形に改善します。これにより担当者が迷わず正しい手順で業務を行えるようになり、人為的ミスを最小限に抑えるとともに、正確性と顧客満足度の向上を実現します。

DX戦略

③安全

◆情報共有・環境整備・セキュリティ強化

当社は安全に作業を行うため、情報共有・安全な社内環境の構築・強固なセキュリティ体制が不可欠と認識しております。情報共有はデータをクラウドに保管したり、チャットツールを使ったりすることで共有しやすい環境を整えます。環境整備に関しては、アナログ・デジタル両方を整理整頓し、安全な社内環境の構築を進めていきます。また、AI技術の発達に伴い年々サイバー攻撃の脅威も高まっていることから、訓練・研修・勉強会の実施を通じて全社員のセキュリティリテラシー向上に取り組むとともに、共有権限の設定についても定期的な見直しを行い、全社でセキュリティ体制を強化していきます。

④柔軟

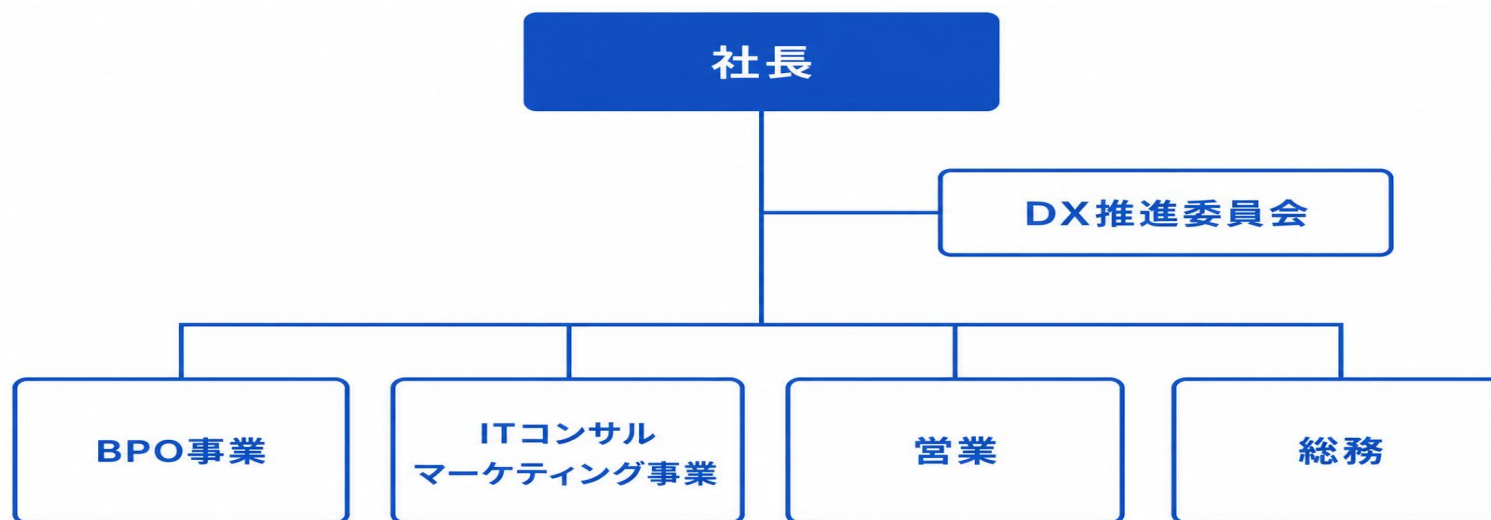
◆個人スキルを明確にして属人化を防ぎ、サービスの均一化を図る

これまでは、だれがどの業務ができるか、そのスキルを明確にし属人化を防ぐ取り組みを行ってきました。今後はさらに一歩進め、誰が担当しても質の高いサービスを均一に提供できる体制を強化をしていきます。具体的には、マニュアルを全面的に見直し、誰でも理解しやすい内容に再構築することで、業務の標準化を促進します。さらに、生成AIを活用することで、業務の効率化を図るだけでなく、従業員の苦手分野をサポートし、スキルアップを促進することで、サービス品質の均一化を目指します。

加えて、デジタル技術を活用できる人材を育成し、ITツールの活用スキルを数値化することで、個々の能力を可視化します。例えば生成AIやマーケティングツールを活用し、データ分析を行える人材を育成します。また、お客様のDX推進を支援するビジネスアーキテクトを増員することで、より質の高いサービスを提供できる体制を強化します。これらの取り組みを通じて、属人化を解消し、お客様に常に高品質で均一なサービスを提供できるよう努めてまいります。

体制・人材育成

当社にDX推進委員会を設置し、DX実務執行総括責任者（社長）を中心としてDX専任担当者を配置し、各部門長を構成員としてDXを推進します。定着した後は、専任担当者から各担当部署に横展開し、デジタル技術を使ったお客様への素早く安心して安全で快適なサービス提供及びデジタル人材の育成及び資産管理を実施します。



基本的なデジタル育成の方針は、経済産業省が推進する資格ITコーディネータの取得やITパスポート試験の合格を促進し、有資格者を増やすとともに、社内勉強会を通じてデジタル技術を活用できる人材を継続的に増やしていくことです。あわせて、業務プロセスを可視化・再設計するビジネスアーキテクト、データを分析し改善に活かすデータサイエンティスト、そして生成AI・AIエージェントを日々の業務で使いこなす全社員のDXリテラシー向上など、より高度な専門知識・スキルを習得できる機会を提供していきます。

デジタル技術、環境整備

当社は、DX推進のために毎年売上総利益の1%を投資し、以下の既存システムの見直しや新規システムの検討により、デジタル技術の導入や環境整備に努めます。

既存システム

Google Workspace（情報共有・手順書管理・データ収集
基盤・権限とログ管理）

データポータル（BIツール）

Chatwork

ソリッドボイス

会計・給与管理（自社）

バクラク

生成AI

新規システム

給与管理（クラウドタイプ）

AIエージェント

数値目標（KPI）

当社は、DX推進の達成状況を測る指標として下記を定めます。毎年2回（4月、10月）に実行計画アセスメントを行ったうえで、その結果を反映し各チームで実行計画を見直し、月1回評価を行いながら実行計画目標を達成するように工夫していきます。

区分	指標	2028年度	2030年度
戦略①迅速	主要業務の平均リードタイム削減率	▲30%	▲40%
戦略②正確	工程内検知率	95%	98%
戦略③安全	個人情報保護動画の視聴率（年1回実施）	100%	100%を維持
戦略③安全	共有権限の見直し・強化（実施頻度）	年2回	年2回を維持
戦略④柔軟	DX推進スキル人材数（IPA「デジタルスキル標準」に基づく）	30名	40名
戦略④柔軟	ビジネスアーキテクト／データサイエンティスト育成人数	計5名	計8名
戦略④柔軟	全社員DXリテラシー研修受講率	100%	100%を維持

DXに関する社長メッセージ

私たちは、ITコンサルティング事業とBPO事業を通じて、全国のお客様の総務・経理・給与といった間接業務をお預かりしてきました。生成AIの実用化や人手不足により、単なる代行やデジタル化だけでは生き残れないと、私は強い危機感を持っています。

そこで当社は、BPOを代行の手段ではなく、お客様のDXを推進する手段と位置付け直します。業務プロセスの実データを分析し、実行まで伴走する。ITコンサルティングとBPOを一体で提供する——これがこれからのみらいパートナーズです。

迅速・正確・安全・柔軟の4戦略を、勘や気合いではなくデータに基づいて推進し、ビジネスアーキテクトとデータサイエンティストを社内で育成、DX改善事例報告会を通じて全社員で業務改善に取り組みます。

お客様の業務がどう良くなったかをデータでお示しし、最も信頼できるパートナーとなれるよう、全社で歩みを進めてまいります。

株式会社みらいパートナーズ 代表取締役 菊池 正則